

「中学受験を終えて」

S. T (父)

受験校 獨協埼玉中学校 (合格)、専修大学松戸中学校 (合格)
高輪中学校 A 日程 (不合格)、高輪中学校 B 日程 (未受験)、高輪中学校 C 日程 (合格・進学)

集中力があり、勉強好き、負けず嫌いで根性のある長男に対し、注意力が散漫で、勉強嫌い、マイペースで諦めの早い次男でしたが、今からちょうど 2 年前、有名進学校に合格した長男を見て、「自分も中学受験をやってみたい」と申しました。

南雲先生は、「どんな形でもお手伝いしますよ」をおっしゃって下さったのですが、先生の教室の生徒さんは優等生ばかりですし、既に 2 回も退塾歴のある次男が先生の教室で続けていけるか自信もなかったため、とりあえず、在宅学習で受験勉強を開始しました。

全科目を予習シリーズの 4 年生から始め (つまり約 1 年遅れでスタート)、カリキュラムが追いついた時点で四谷系の塾に入れる計画を立てました。

平日の夕方、学校から帰ってきてから私が帰宅する 19 時頃までの間、セミプロの家庭教師の先生を 2 名 (算国各 1 名。2 回/週ずつ) お願いし、算数の応用と理社は、私が平日 19 時以降と土日につきっきりで指導しました。

しかし、目標とした 5 年生の夏休みまでに四谷のカリキュラムに追いつくことはできず、在宅学習の弊害でしょうか、刺激が少ないためモチベーションが上がらず学習が停滞し始めたため、思い切って、5 年生の 10 月から進度の遅い市進学院に入塾させました。ただし家庭教師の先生は、週 1 回の国語だけは残しました (私が国語の指導が苦手なため)。

市進では 3 クラス中真ん中のクラスで、本人としては意欲的に頑張れるようになってきましたが、冬期講習、春期講習になるとどうしてもカリキュラムの進みが早く、追いつけなくなってしまうため、季節講習は教材だけいただいて参加せず、冬休みは私が年末年始休暇を利用してつきっきりで指導し、春休みは、平日のうち半日を家庭教師の先生にお願いし、残りの半日を自習と私が帰宅後指導することで対応しました。

4 月になると外部模試が始まります。こういったテストにも慣れていかなければならないので、4 月と 7 月の統一合判 (首都圏模試) を受けました。合不合と違って理科と社会の範囲がある程度限定されるので、理社の学習が遅れている次男にとって都合が良かったのです。結果は 2 回共に偏差値 58 で、まずまずの結果でしたが、国語の偏差値が下降気味なのは気がかりでした。国語に関しては塾とは別に家庭教師の先生の指導も受けていましたが、その先生曰く、「今日は、学校で疲れたそうで、全然集中力がなかったです」ということが多々あり、どうしたものかと気をもんでおりました。

尚、市進は1学期終了時点で休塾にさせていただきました。

6年生の夏休みは受験生にとっては天王山です。長男の時は学生のアルバイトの先生をお願いして乗り切ったのですが、今回も同様の方法を取ることに致しました。

私も会社の夏休みを長目にとり、つきっきりで次男に付き合いました。本人なりに頑張っていたのですが、マイペースの次男の場合、総復習を完了することはできず、9月いっぱいまで復習を続けることにしました。尚、夏休み中に志望校の調査、絞込みを行いました。

さて、一番心配の種だった国語について、私はある決心を固めました。いよいよ今回も神様におすがりするしかない。1年ぶりにお電話でお聞きした南雲先生の声は相変わらず気品がありお元気な様子でしたが、私の無理なお願ひに対してやや困った様子ながらも、「空いている時間でよろしければ・・・」と条件付きで引き受けていただけることになり、「これで何とかいけるかも、、、」とホッと一安心したのが、8月下旬のことでした。

外部模試については、統一合判（首都圏模試）、センター模試（日能研）、合不合（四谷大塚）の中から、志望校が会場になっている日程を優先して受験しました（専修大松戸2回、高輪中3回）。本番の会場に慣れることが目的でしたので、2科目で受験することが多かったです。

10月からいよいよ過去問を開始しました。長男のときは8月下旬でしたので、約1ヶ月の遅れです。解き始める順番ですが、長男の時は第1志望校から過去問を解き始めたのですが、次男の場合は第2志望校の専修大松戸中から始めました。専松中の問題は基礎的で素直な問題が多いのに対し、高輪中の問題（特に社会と理科）は偏差値の割に難問や思考力を要する問題が多かったからです。専松中は過去4年8回分を10回転、高輪中は3年9回分をやはり10回転解かせました。可能な限り遡って解くことがベターですが、時間切れでした。

そして国語ですが、南雲先生には、9月～12月までは90分の個別の過去問指導を毎月2回、1月は3回の計11回（専松4～5回分、高輪7回分）見ていただきました。南雲先生の指導についてですが、以前、長男の体験記にも書きましたが、他の先生と比較して非常にわかりやすいということは次男も申しておりました。また、話術が巧みで、男の子の扱いがとてもお上手です。お恥ずかしい話ですが、次男は過去、家庭教師の先生を何回か泣かせており、南雲先生に対しても失礼な態度や発言がないかと心配していたのですが、違いがわかるのか、真剣に授業を受けていたようで、びっくり致しました。

学校は冬休み前からお休みしました。学校が荒れていて明らかに受験勉強に悪影響が出ていたこと、インフルエンザ対策等体調管理のための非常手段でしたが、ここでこれまで

の遅れがかなり取り戻せたように思います。

志望校の決定ですが、第1志望校は1年前には決めておき、5年生の時に志望校の入試の様子をお子様と一緒に見学に行かれることをおすすめします。あの異様な雰囲気は予め体験しておかないと、はじめての場合あがってしまうことにもなりかねません。長男は駒東、次男は高輪にそれぞれ1年前の2月1日に見学に参りました。

受験が始まってからの留意事項ですが、寒い時期、早朝、なれない場所という悪条件が揃った中で受験しなければなりません。当日落ち着いて受験できるように、親として最大限の配慮が必要です。遠方であれば、前日近くのホテルに泊まり受験したほうがベターな場合もあります。

次男の受験では最後の最後で想定外の事態が発生しました。高輪中の第1回の試験で不合格になってしまった次男がショックのあまり、もう受験をしたくないと言い始めたのです。結局2日の第2回と算数午後を回避し、本人を説得して4日の受験にこぎつけて何とか合格をいただきましたが、一步間違えば一生悔いの残る受験になるところでした。

本人が最後まで諦めなかったことが一番の勝因だとは思いますが、それも支えて下さった周囲の方々がそこまで学力を高めて下さって初めて可能なわけですし、御礼の言葉もありません。特に南雲先生には2度も我が家の危機を助けていただき、間違っても足を南雲教室の方に向けて寝ることはできません。長男は先生のことを、よく「神だ」と申ししておりましたが、次男までも奇跡の逆転に導いて下さったことを考えますと、当家にとっては天神様以上の存在です。

2月3日に授業していただいたことは、一生忘れません。
本当にありがとうございました。